

# 滝野東小学校 生活指導

## (1)生活指導推進計画

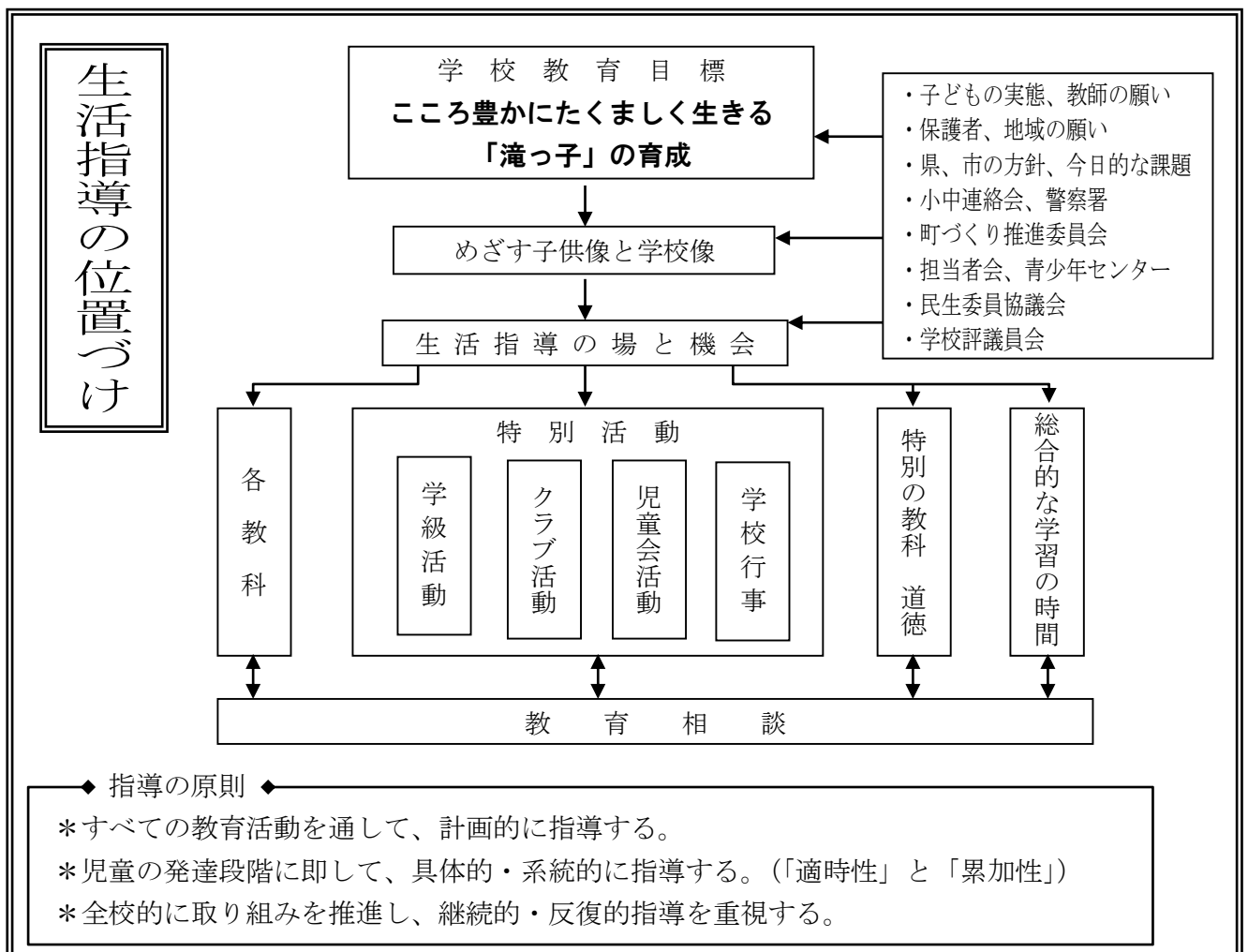
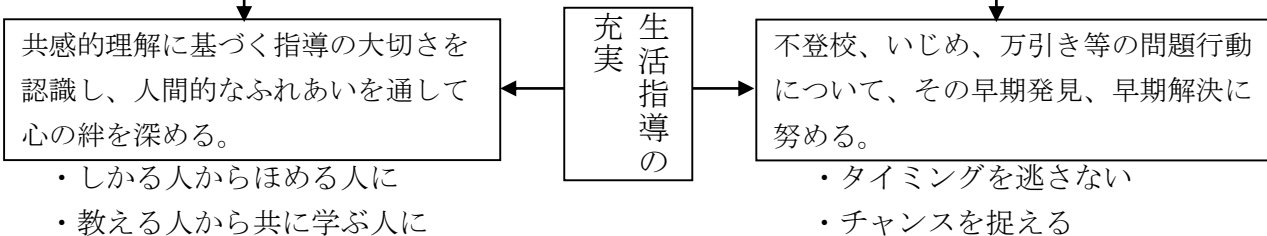
生活指導部

### ◆全体計画（生活指導の目標と位置づけ）◆

すべての児童生徒のそれぞれの人格のよりよき発達を目指すとともに、学校生活がすべての児童生徒にとって有意義で興味深く、充実したものになることを目指しています。  
 (文科省「生徒指導提要 第1章」より)

子ども一人一人が「いかに生きるか」という方向を見つけていくための指導と援助である。子どものものの見方、考え方、行動・態度について、一人一人にいかにして生きがいを感じさせるかが主題となり、子どもたちの「生きる力」を育む一面を担うものである。

すべての教育活動を通して、子どもの社会性を培い、自主性・主体性の育成に努める。



## 1 指導体制の確立について

つながる…子ども、保護者、地域、教師をつなげる。また、それぞれもつなげる。  
つづける…指導して終わるのではなく、見守り続け、継続した指導を行う。  
ふり返る…活動をふり返り、次に生かす。

※本校教育の基本 教育目標の具体像 成長のキーワードより

### 【生活指導体制の基本】

- 全教職員が共通理解と共同実践を行う。 → **共通理解**
- 生活指導部（生活指導委員会）と各分掌や学年が連携して生活指導を推進する。 → **課題に対応できるネットワークのよい組織**
- 教師間の情報交換や連絡調整機能を大切にし、共有し合う。 → **情報のオープン化**
- 家庭や地域、関係諸機関との連携を密にし、指導効果を高める。 → **外部との連携**

## 2 推進の方策

### (1) 校内での共通理解

- ① 生活指導委員会の定例化
  - ・週1回の学年会を「学年会ノート」に記録し、問題の早期発見、早期解決を図る。
  - ・月ごとの「学校生活アンケート」の集約を行い、問題に対して対応する。
  - ・子どもの生活の様子を報告し合い、各学年からの要望や意見を話し合う。
  - ・子ども達の様子から、生活指導における重点課題と具体的な活動内容を決定する。
- ② 職員全体で話し合う機会を持つ。
  - ・気になる児童に対し、職員全体で共通理解する研修を設ける（児童理解）。

### (2) 「くらしのやくそく」（別紙）の徹底

- ① 教職員に共同実践の意識を促す。
  - ・その場に居合わせた教師が、すぐに適切な指示を行う。
- ② 「くらしのやくそく」を教室に掲示し、継続した子どもへの意識付けを行う。
  - ・家庭にも配布し、保護者の協力を得る。

### (3) 時間や決まりの厳守と迅速な集団行動

- ① 規範意識の育成を図る。
  - ・発達段階に応じて健全な判断力や行動力を育てる。
- ② ルールや決まりの意義や必要性に気づかせるような指導を行う。
  - ・気づきによる行動の動機付けを図る。
- ③ 情報モラルやルールについて、その危険性を知らせて、自らルールを守る児童を育てる。

### (4) 学習環境の整備

- ① 清掃指導の徹底を図る。
  - ・時間内で一生懸命働く子どもを育てる。
- ② 児童の下校後に教室点検を行う。

### (5) 学校内外における問題行動への対応

- ① 迅速かつ適切な初期対応を心がける。 → 状況の把握、的確な判断、報告
- ② 養護教諭や教育相談、特別支援担当との連携を密にする。
- ③ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携を密にする。